

総合評価落札方式における若手技術者等  
の育成等の履行確認に関する特記仕様書

本工事は、愛媛県立伊予高等学校工事請負契約書（以下「契約書」という。）及び工事仕様書によるほか、この特記仕様書によらなければならない。

第1条（若手技術者等の育成等の履行）

受注者は、総合評価落札方式において、総合評価に係る資料として提出された「技術力の継続的な確保について」のうち若手技術者等の育成及び県内下請業者の活用に記載された内容（以下「若手技術者等の育成等」という。）を履行しなければならない。

第2条（若手技術者等の育成等の施工計画書への記載）

- 1 受注者は、若手技術者等の育成等について、工事仕様書1章「一般共通事項」における「施工計画書」の規定に基づき提出する施工計画書に記載しなければならない。
- 2 施工計画書には、若手技術者等の育成等における記載項目毎の履行確認の方法及び確認可能な時期等について、併せて記載しなければならない。
- 3 前項の履行確認の方法及び確認可能な時期等については、若手技術者等の育成等の内容に関わらず工事完成の通知までに履行確認が可能となる方法をもって記載しなければならない。
- 4 第2項の記載に際しては、別紙様式第1～2号を使用するものとする。

第3条（発注者の履行確認）

- 1 受注者は、施工計画書の記載内容に従い、若手技術者等の育成等の履行確認を受けなければならない。
- 2 受注者は、監督員から若手技術者等の育成等の履行確認に関し、資料の提出や説明等を求められた場合はこれに応じなければならない。

第4条（工事成績評定点の減点）

- 1 受注者が、第1条の規定による若手技術者等の育成等を履行しなかった場合は、工事成績評定点を減点するものとする。
- 2 前項の場合の減点については、工事成績評定要領細則の規定に基づき行うものとする。